

【令和5年4月1日：施行】

# 学 則

北海道スポーツ専門学校

# 北海道スポーツ専門学校学則

## 第1章 総 則

(目 的)

第1条 本校は、生涯スポーツ社会に貢献する指導者を育成するとともに、競技レベルのスポーツ選手に対し、適切なコンディショニング及び外傷障害からの競技復帰などについて支援できる専門的な知識や技能を有する有為な人材を育成することを目的とする。

(名 称)

第2条 本校は、北海道スポーツ専門学校と称する。

(位 置)

第3条 本校は、1号館校舎を札幌市東区北11条東6丁目1番30号に、2号館校舎を札幌市東区北14条東6丁目1番55号に、3号館校舎を札幌市東区北15条東6丁目1番1号に置く。

(自己点検・評価)

第4条 本校は、その教育の一層の充実を図り、本校の目的及び社会的使命を達成するため、本校における教育活動等の状況について自ら点検及び評価を行うものとする。

2 前項の点検及び評価の実施に関し、必要な事項は別に定める。

## 第2章 課程、学科、修業年限、定員

(課程、学科、修業年限、定員)

第5条 本校の課程、学科及び修業年限並びに定員は、次のとおりとする。

分 野	課 程	学 科	昼夜の別	修業年限	入学定員	総定員	学級数
文化・教養	専門課程	スポーツトレーナー学科	昼 間	3年	70人	210人	6学級
文化・教養	専門課程	スポーツ健康学科	昼 間	2年	60人	120人	4学級

(在学年限)

第6条 本校に在学することができる期間は、修業年限の倍に相当する年数を超えて在学することはできない。

(学年、学期の終始期)

第7条 学年は、4月1日に始まり翌年の3月31日に終わる。

2 学年を分けて2学期とする。

前期 4月1日から9月30日まで

後期 10月1日から翌年3月31日まで

3 校長は、教育上必要があり、かつ、やむを得ぬ事情があるときは、前項の規定にかかわらず、そ

それぞれの学科において、前後期の終始期を変更することができる。

(休業日)

第8条 休業日は、次のとおりとする。

- (1) 土曜日及び日曜日。
  - (2) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に定める日。
  - (3) 吉田学園創立記念日 9月15日。
  - (4) 夏季休業日、秋季休業日、冬季休業日、春季休業日。
- 2 前項（4）の休業日については各学科及び学年毎に、年度当初に校長が定める。
- 3 校長は、教育上必要があり、かつ、やむを得ぬ事情があるときは、第1項の休業日に授業を行うことができる。
- 4 校長は、必要により第1項の休業日を臨時に変更することができる。
- 5 第1項に定めるもののほか、校長は臨時の休業日を定めることができる。

### 第3章 教育課程、授業時数及び職員組織

(教育課程、授業時数、始業及び終業)

第9条 本校の教育課程、単位数及び授業時数は、別表第1のとおりとする。

- 2 別表第1に定める授業時数の1単位時間は45分とする。卒業までに履修させる授業時数は、スポーツトレーナー学科にあつては2,700時間（144単位）以上、スポーツ健康学科にあつては1,800時間（88単位）以上とする。
- 3 本校の始業及び終業の時刻は、校長が別に定める。

(授業時数の単位数への換算)

第10条 本校の授業科目の授業時数を単位数に換算する場合においては、1単位の授業時数を45時間の修得を必要とする内容を持って構成することを標準とし、次の基準により計算するものとする。

- (1) 講義及び演習にあつては15時間から30時間までの範囲で定める時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 実験、実習及び実技にあつては30時間から45時間までの範囲で定める時間の授業をもって1単位とする。

(成績評価)

第11条 授業科目の成績評価は、定期試験、授業担当者が必要に応じて実施する試験、課題、レポート並びに平素の学習活動等を総合的に勘案して行う。

- 2 科目の出席時数が既定の時数に達しない者は、その科目について評価を受けることができない。
- 3 成績の評価は100点満点とし、A（80点以上）、B（79点から70点）、C（69点から60点）、D（60点未満）をもって表示し、A、B及びCを合格とし単位を修得したものとする。

ただし、実習・集中講義及び入学前に取得し学校が認定する単位等特別な場合は、認定単位とし、「N」をもって表示することができ、4段階評定法の「C」以上にあたる。

- 4 その他、成績評価に関する詳細は別に定める。

(他の専修学校等における授業科目の履修等)

第12条 学生が本校在学中に行った、他の専修学校の専門課程における授業科目の履修及び、大学等における学修について教育上有益と認めるときは、本校において履修したものとして認定することができる。

ただし、当該学科の修了に必要な総授業時数の2分の1を超えないものとする。

(入学前の授業科目の履修等)

第13条 学生が本校に入学する前に行った、他の専修学校の専門課程における授業科目の履修及び、大学等における学修について教育上有益と認めるときは、本校において履修したものとして認定することができる。

2 前項により本校において履修したものとして認定することができる授業時数(単位数)は、前条により本校において履修したものとして認定した授業科目と合わせて当該学科の修了に必要な総授業時数の2分の1を超えないものとする。

(職員組織)

第14条 本校に校長、教員、講師、事務職員、その他必要な職員を置く。

2 校長は、校務をつかさどり、所属職員を監督する。

(会議)

第15条 校長は、学校の適切な運営及び教育の充実を図るため、各種会議を置く。

2 会議の種類、構成及び運営に関し、必要な事項は校長が定める。

## 第4章 入学、休学、退学及び卒業

(入学資格)

第16条 本校の入学資格は、次のとおりとする。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者若しくは通常の課程による12年の学校教育を修了した者。
- (2) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。
- (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者。
- (4) 文部科学大臣の指定した者。
- (5) 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者(旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む)。
- (6) 修業年限が3年以上の専修学校の高等課程を修了した者。
- (7) その他本校において、個別の入学審査により、高等学校を卒業した者に準ずる学力があると認めた者で、18歳に達した者。

(入学時期)

第17条 本校の入学時期は、学年の初めとする。

(入学手続、許可)

第18条 本校の入学手続きは、次のとおりとする。

- (1) 本校に入学しようとする者は、本校の定める入学願書、その他の書類に必要事項を記載し、第32条に定める入学検定料及び別に定める書類を添えて指定期日までに出席しなければならない。
- (2) 前号の手続きを終了した者に対して募集要項に定める選考方法により、合格者を決定する。
- (3) 本校の入学許可を受けようとする者は、所定の誓約書に入学金及び授業料等を添え、指定の期日までに提出しなければならない。
- (4) 前号に定める手続きが所定の期日までに行われないうち、又は出席書類及びその他の書類に虚偽の記載があるときは、入学の許可を取り消すことがある。

(転入学及び編入学)

第19条 本校に転入学又は編入学を志望する者があるとき、校長は欠員のある場合に限り、選考の上転入学又は編入学を許可することができる。

- 2 前項の規定により転入学又は編入学を許可された者の既に修得した授業科目、単位数及び時間数の取扱い並びに在学すべき年数については、校長が定める。
- 3 転入学及び編入学に必要な事項は別に定める。

(転学及び転科)

第20条 学生が他の学校への転学又は他の学科への転科を希望するときは、理由を記した書類を添えて、校長に願ひ出て許可を受けなければならない。

- 2 転学及び転科に必要な事項は別に定める。

(欠 席)

第21条 学生が病気その他やむを得ない理由により欠席しようとするときは、欠席届を校長に提出しなければならない。

(休 学)

第22条 病気その他やむを得ない理由により、就学することのできない者は、校長の許可を得て休学することができる。

- 2 前項の理由が病気による場合は、医師の診断書を添付して願ひ出なければならない。
- 3 病気のため就学が不相当と認められる者に対しては、校長は休学を命ずることができる。
- 4 休学期間は、引続き1年を超えることはできない。ただし、特別の理由がある場合校長は1年を限度として休学期間の延長を認めることができる。
- 5 休学期間は通算して修業年限を超えることはできない。
- 6 休学期間は第6条の在学年限に算入しない。

(復 学)

第23条 休学期間満了の場合、又は休学期間中にその理由が消滅したときは、復学の許可を願ひ出るものとし、校長の許可を得て復学することができる。

(退 学)

第24条 退学しようとする者は、理由を記した書類を添えて、校長の許可を受けなければならない。

(除 籍)

第25条 次の各号の一つに該当する者は、所定の会議の議を経て校長は除籍することができる。

- (1) 死亡又は長期行方不明の者。
- (2) 病気その他の理由で成業の見込みがないと認められた者。
- (3) 授業料、その他学費の納付を怠り、督促してもなお納付しない者。
- (4) 第6条に定める在学年限内に卒業ができないことが確定した者。
- (5) 第22条に定める休学期間を超えても、なお復学もしくは退学の手続をしない者。

(復 籍)

第26条 前条各号の事由によって除籍された者が、除籍の事由が解消され、かつ、復籍願を校長に提出した場合は、所定の会議の議に諮り、復籍を認めることがある。

2 復籍を許可されたものに対し必要な事項は別に定める。

(卒業・課程修了の認定)

第27条 校長は、教育課程の定めるところにより、修業年限以上在学し、教育指導計画に従って授業科目を履修し、その成果が満足できると認められたときは、所定の会議の議を経て各学年の課程の修了又は卒業を認定する。

2 校長は、卒業を認定した者に対して別記第1号様式の卒業証書を授与する。

(称号の授与)

第28条 前条により、文化・教養専門課程スポーツトレーナー学科、スポーツ健康学科を修了した者は専門士（文化・教養専門課程）の称号を授与する

## 第5章 科目等履修生

(科目等履修生)

第29条 本校において開設する授業科目に対し、本校学生以外の者による授業科目の履修を許可しない。

## 第6章 賞 罰

(褒 賞)

第30条 学生が成績、性行ともに優れ、他の模範となるときは、校長は所定の会議に諮り褒賞することができる。

(懲 戒)

第31条 校長は、本校の規則若しくは命令に違反し、又は本校の学生としての本分に反する行為があった場合等において、教育上必要と認められる場合には、学生に対し懲戒を加えることができる。

2 懲戒の種類は、訓告、停学及び退学とする。

- 3 退学は、次の各号に該当する場合にこれを命ずる。
- (1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者。
  - (2) 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者。
  - (3) 正当な理由がなくて出席が常でない者。
  - (4) 本校の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者。

## 第7章 入学金及び授業料等

(納付金)

第32条 授業料、入学金その他の費用は、別表第2のとおりとする。ただし、経済情勢の変化その他相当の事由がある場合には、変更することができる。

(納付金の納入時期)

第33条 学生は前条に定める納付金を、所定の期日までに納入しなければならない。納入方法については別に定める。

(納入金の不返還)

第34条 既納の納入金は、いかなる理由があっても返還しない。ただし、入学辞退の申し出があった場合に限り、入学金を除く納入金を返還する場合がある。

(納入の特例)

第35条 特待生や休学等により特別の事由が発生したときは、第32条及び第33条の規定にかかわらず、別に定めるところにより、授業料の全部又は一部を減免することがある。

## 第8章 健康管理

(健康診断)

第36条 健康診断は、毎年1回、別に定めるところにより実施する。

## 第9章 附帯教育事業

(附帯教育)

第37条 本校は、附帯教育事業として、次のとおり別科を設置する。

科名	昼夜の別	修業期間	授業時数	総定員
水泳科	昼間	1年以内	400時間以内	200人
水泳科	夜間	1年以内	400時間以内	200人
健康促進科	昼間	1年以内	400時間以内	200人
健康促進科	夜間	1年以内	400時間以内	200人

- 2 別科の入学金、授業料、教育課程その他必要な事項は、別に定める。

## 第10章 雑 則

(施行細則)

第38条 この学則の施行についての細則は、別に定める。

### 附 則

- この学則は、平成5年4月1日から実施する。
- この学則の実施日の前日に札幌国際ビジネス専門学校<sup>（注）</sup>の社会体育ビジネス学科に在籍する生徒は、同一の条件を以って引続き本校の文化・教養分野社会体育学科の生徒となるものとする。

この学則の一部を改正し平成5年4月1日から実施する。 (納付金の一部変更)

変更後の規定にかかわらず平成6年度については

分野	課程	学 科	昼・夜	修業 年限	収 容 定 員			
					1年	2年	3年	合計
文化・教養	専門課程	社会体育学科	昼	2年	80	80		160
		社会体育ビジネス学科	昼	2年	80	80		160
		健康科学学科	昼	2年	40			40

とし、平成7年度については

分野	課程	学 科	昼・夜	修業 年限	収 容 定 員			
					1年	2年	3年	合計
文化・教養	専門課程	社会体育学科	昼	2年	80	80		160
		社会体育ビジネス学科	昼	2年	80	80		160
		健康科学学科	昼	2年	40	40		80

とする。 (学科の増設及び定員並びに納付金の改正)

この学則の一部を改正し平成7年3月1日から実施する。 (第13条別記第1号様式の改正)

### 附 則

この学則は、平成8年4月1日から実施する。ただし、第15条に規定する別表第2の表中入学検定料については、平成8年度の入学志願者から適用する。 (第15条別表第2の改正及び文言の整理)

### 附 則

この学則は、平成9年1月13日から実施する。 (第13条別記第1号様式(その3)の改正)

### 附 則

この学則は、平成9年4月1日から実施する。ただし、第15条に規定する別表第2の表中入学検定料については、平成9年度の入学志願者から適用する。

(第3条、第5条第2項及び第15条別表第2の改正等)

### 附 則

この学則は、平成10年4月1日から実施する。

(第6条、第12条(別表第1を含む。)及び第15条別表第2等の改正)

### 附 則

この学則は、平成11年4月1日から実施する。ただし、実施日の前日に在学する生徒については、なお従前の例による。 (第12条別表、第15条、第16条及び第18条の改正)



## 附 則

この学則は、平成13年4月1日から実施する。ただし、実施日の前日に在学する生徒については、なお従前の例による。（第12条別表第1、第13条、第15条及び第15条別表第2の改正）

## 附 則

この学則は、平成13年4月1日から実施する。

（第4条、第12条別表第1、第13条別記第1号様式、第15条別表第2の改正）

## 附 則

この学則は、平成14年4月1日から実施する。ただし、実施日の前日に在学する生徒については、なお従前の例による。（第12条別表第1の改正）

## 附 則

この学則は、平成15年4月1日から実施する。ただし、実施日の前日に在学する生徒については、なお従前の例による。

（第4条、第12条別表第1、第13条別記第1号様式、第15条別表第2の改正）

## 附 則

この学則は、平成15年4月1日から実施する。

（第4条の改正）

## 附 則

この学則は、平成16年4月1日から実施する。

（標題、第1条、第12条、第13条、及び条項の改正）

## 附 則

この学則は、平成16年4月1日から実施する。

（第13条、第13条別表第1の改正）

## 附 則

この学則は、平成16年8月1日から実施する。

（第22条の改正）

## 附 則

この学則は、平成18年4月1日から実施する。

（条文の整理・追加及び教育課程の見直しによる改正。ただし、健康科学学科スポーツコーチング専攻については平成19年4月1日から実施する。）

## 附 則

この学則は、平成19年4月1日から実施する。

（別表第2（第31条関係）の改正）

## 附 則

この学則は、平成19年4月1日から実施する。

（第3条、第5条、第6条、第9条、第19条、第27条、別表第1（第9条関係）、別表第2（第31条関係）、別記第1様式（第26条関係）の改正）

## 附 則

この学則は、平成19年4月1日から実施する。

（表題、第2条、別記第1号様式（第26条関係）及び付帯教育事業の修了証書の改正）

## 附 則

この学則は、平成20年4月1日から実施する。

（第5条、第6条、第9条、第27条、別表第1（第9条関係）、別表第2（第31条関係）、別記第1号様式（第26条関係）の改正）

ただし変更後の第5条の規定については、平成20年度の入学生から適用し、平成20年4月1日以前に入学した者については、なお従前の例による。

## 附 則

この学則は、平成 20 年 4 月 1 日から実施する。

(第 27 条、別表第 1 (第 9 条関係)、別記第 1 号様式 (第 26 条関係) の改正)

## 附 則

この学則は、平成 21 年 4 月 1 日から実施する。

(第 10 条、別表第 1 (第 9 条関係) の改正)

## 附 則

この学則は、平成 23 年 4 月 1 日から実施する。

(別表第 2 (第 31 条関係) の改正)

## 附 則

この学則は、平成 24 年 4 月 1 日から実施する。

(文言整理による第 1 条、別記第 1 号様式の改正)

## 附 則

この学則は、平成 25 年 4 月 1 日から実施する。ただし変更後の定員及び教育課程変更による関係条文 (第 5 条、第 9 条、別表第 1 (第 9 条関係)) について、実施日の前日に在籍する学生は、なお従前の例による。

(定員及び教育課程の変更による関係条文 (第 5 条、第 9 条、別表第 1 (第 9 条関係)) 及び文言整理による関係条文 (第 3 条、第 6 条、第 7 条、第 8 条、第 10 条、第 11 条、第 16 条、第 18 条、第 19 条、第 20 条、第 22 条、第 25 条、第 26 条、第 27 条、第 28 条、第 30 条、第 32 条、第 33 条、第 36 条) の改正)

## 附 則

この学則は、平成 26 年 12 月 5 日から実施する。

(第 3 条の改正)

## 附 則

この学則は、平成 28 年 4 月 1 日から実施する。ただし納付金変更による関係条文について、実施日の前日に在籍する学生は、なお従前の例による。

(納付金変更による関係条文 (別表第 2 (第 31 条関係)) 及び校舎表記変更による関係条文 (第 3 条) 並びに卒業証書変更による関係条文 (別記第 1 号様式 (第 26 条関係)) の改正)

## 附 則

この学則は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。ただし、変更後の教育課程について、施行日に在籍するスポーツトレーナー学科 3 年生、スポーツ未来学科 3 年生及び 4 年生は、スキー・スノーボード及びスキー・スノーボード宿泊研修に係る科目を除き、なお従前の例による。

(校名変更、教育課程変更、卒業証書変更による表題、関係条文 (第 2 条、別表第 1 (第 9 条関係)、別記第 1 号様式 (第 26 条関係)) 及び附帯教育事業の修了証書の改正)

## 附 則

この学則は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。

(卒業証書変更による関係条文 (別記第 1 号 (第 26 条関係)) の改正)

## 附 則

この学則は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。ただし変更後の納付金変更及び教育課程変更による関係条文について、実施日の前日に在籍する学生は、なお従前の例による。

(納付金変更による関係条文 (別表第 2 (第 31 条関係)) 及び、教育課程変更による関係条文 (第 9 条関係、別表第 1 (第 9 条関係) の改正)

## 附 則

この学則は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。ただし変更後の教育課程変更による関係条文について、

実施日の前日に在籍する学生は、なお従前の例による。

(文言変更による関係条文(第1条)及び教育課程変更による関係条文(第9条関係、別表第1(第9条関係)の改正)

#### 附 則

この学則は、令和3年4月1日から施行する

(学科廃止による関係条文第5条、第9条、第27条及び、別表第1(第9条関係)、別表第2(第31条関係)、別記第1号様式(第26条関係)の改正)

#### 附 則

この学則は、令和4年4月1日から実施する。ただし、変更後の教育課程変更による関係条文について、施行日の前日に在籍する学生は、なお従前の例による。

(第26条の追加、別表第1(第9条関係)の改正)

#### 附 則

この学則は、令和5年4月1日から施行する。ただし、変更後の教育課程変更による関係条文について、施行日の前日に在籍する学生は、なお従前の例による。

(教育課程変更による関係条文第9条、別表第1(第9条関係)の改正)

別表第1 (第9条関係)

## 教育課程及び授業時間数

文化・教養分野 専門課程 スポーツ健康学科 スポーツインストラクターコース

(No.1)

区分	科目名	単位	年間授業時間数		総授業時間数	備考
			第1学年	第2学年		
理論科目	スポーツと社会	2	30		30	
	スポーツと指導者	4	60		60	
	身体の解剖と機能	4	60		60	
	スポーツ外傷・障害の基礎	4	60		60	
	運動生理学	4	60		60	
	救急処置法特別講習	1	30		30	
	健康運動理論Ⅰ	2	30		30	
	健康プログラムⅠ	2	30		30	
	健康運動理論Ⅱ	2		30	30	
	健康プログラムⅡ	2		30	30	
	スポーツの心理	2		30	30	
	スポーツ栄養学	2		30	30	
	ジュニアスポーツ指導の基礎	2		30	30	
	ジュニアスポーツ指導の実際	2		30	30	
	救急処置法	2		30	30	
	健康運動実践指導者対策理論	2		30	30	
	各種トレーニング法の理論とプログラム	2		30	30	
	トレーニングにおけるエクササイズテクニック	2		30	30	
	スイミング理論	4		60	60	選択
	スポーツプログラマー対策	2		30	30	選択
	エアロビックコーチⅠ対策理論	2		30	30	選択
	水泳コーチⅠ対策理論	2		30	30	選択
	ジュニアスポーツ指導員対策	2		30	30	
JATI トレーニング指導者対策	2		30	30	選択	
プログラム研究と開発	4		60	60		
実技科目	ベーシックトレーニング	2	60		60	
	ベーシックスイミング	2	60		60	
	ベーシックエアロビックダンス	2	60		60	
	テーピングテクニック	2	60		60	
	スポーツスキルⅠ	2	60		60	
	スノーボード・スキー宿泊実習Ⅰ	2	60		60	選択
	スポーツスキルⅡ	1		30	30	
	スイミングスキル	2		60	60	選択
	各種トレーニング法の実際	2		60	60	
	健康運動実践指導者対策実技	1		30	30	
	エアロビックコーチⅠ対策実技	1		30	30	選択
	水泳コーチⅠ対策実技	1		30	30	選択
	スノーボード・スキー宿泊実習Ⅱ	2		60	60	選択

区分	科目名	単位	年間授業時間数		総授業時間数	備考	
			第1学年	第2学年			
一般科目	基礎学習	2	30		30		
	ビジネススキル	2	30		30		
	コミュニケーションⅠ	2	30		30		
	カレッジイベントⅠ	1	30		30		
	就職セミナー	1	30		30		
	就職実務	2		30	30		
	情報基礎	2		60	60		
	外国語	4		60	60	選択	
	コミュニケーションⅡ	2		30	30		
	カレッジイベントⅡ	1		30	30		
実習科目	見学実習	1	30		30		
	特別研修	1	30		30		
	インターンシップⅠ	1	30		30		
	ジュニアスポーツ指導実習	2		60	60		
	インターンシップⅡ	2		60	60		
特別科目	一年次研究課題Ⅰ	4	60		60	選択	
	一年次研究課題Ⅱ	4	60		60	選択	
	一年次研究課題Ⅲ	4	60		60	選択	
	二年次研究課題Ⅰ	4		60	60	選択	
	二年次研究課題Ⅱ	4		60	60	選択	
	二年次研究課題Ⅲ	4		60	60	選択	
	ボランティア活動	1		30	30	選択	
選択必修科目	Ⅰ	フィットネスプログラムⅠ	2	60		60	Ⅰ～Ⅴの 科目群から いずれか 一科目群 を選択
		フィットネスプログラムⅡ	2		60	60	
	Ⅱ	こどもスポーツ実習Ⅰ	2	60		60	
		こどもスポーツ実習Ⅱ	2		60	60	
	Ⅲ	ダンスパフォーマンスⅠ	2	60		60	
		ダンスパフォーマンスⅡ	2		60	60	
	Ⅳ	スイミングインストラクション	1	30		30	
		アクアエクササイズ	1	30		30	
		スイミングトレーニング	2		60	60	
	Ⅴ	スノーボード・スキートレーニングⅠ	2	60		60	
スノーボード・スキートレーニングⅡ		2		60	60		
総合計		89 ～138	960 ～1,200	840 ～1,470	1,800 ～2,670		

区分	科目名	単位	年間授業時間数		総授業時間数	備考
			第1学年	第2学年		
理論科目	スポーツと社会	2	30		30	
	スポーツと指導者	4	60		60	
	身体の解剖と機能	4	60		60	
	スポーツ外傷・障害の基礎	4	60		60	
	運動生理学	4	60		60	
	救急処置法特別講習	1	30		30	
	健康運動理論Ⅰ	2	30		30	
	健康プログラムⅠ	2	30		30	
	健康運動理論Ⅱ	2		30	30	
	健康プログラムⅡ	2		30	30	
	スポーツの心理	2		30	30	
	スポーツ栄養学	2		30	30	
	ジュニアスポーツ指導の基礎	2		30	30	
	ジュニアスポーツ指導の実際	2		30	30	
	救急処置法	2		30	30	
	健康運動実践指導者対策理論	2		30	30	
	各種トレーニング法の理論とプログラム	2		30	30	
	トレーニングにおけるエクササイズテクニック	2		30	30	
	スイミング理論	4		60	60	選択
	スポーツプログラマー対策	2		30	30	選択
	エアロビックコーチⅠ対策理論	2		30	30	選択
	水泳コーチⅠ対策理論	2		30	30	選択
	ジュニアスポーツ指導員対策	2		30	30	選択
JATI トレーニング指導者対策	2		30	30		
BRSO 対策	2		30	30	選択	
トレーニング指導者理論	2		30	30		
実技科目	ベーシックトレーニング	2	60		60	
	ベーシックスイミング	2	60		60	
	ベーシックエアロビックダンス	2	60		60	
	テーピングテクニック	2	60		60	
	スポーツスキルⅠ	2	60		60	
	スノーボード・スキー宿泊実習Ⅰ	2	60		60	選択
	スポーツスキルⅡ	1		30	30	
	スイミングスキル	2		60	60	選択
	各種トレーニング法の実際	2		60	60	
	健康運動実践指導者対策実技	1		30	30	
	エアロビックコーチⅠ対策実技	1		30	30	選択
	水泳コーチⅠ対策実技	1		30	30	選択
	スノーボード・スキー宿泊実習Ⅱ	2		60	60	選択
	スポーツマッサージ	1		30	30	

区分	科目名	単位	年間授業時間数		総授業時間数	備考	
			第1学年	第2学年			
一般科目	基礎学習	2	30		30		
	ビジネススキル	2	30		30		
	コミュニケーションⅠ	2	30		30		
	カレッジイベントⅠ	1	30		30		
	就職セミナー	1	30		30		
	就職実務	2		30	30		
	情報基礎	2		60	60		
	外国語	4		60	60	選択	
	コミュニケーションⅡ	2		30	30		
	カレッジイベントⅡ	1		30	30		
実習科目	見学実習	1	30		30		
	特別研修	1	30		30		
	インターンシップⅠ	1	30		30		
	ジュニアスポーツ指導実習	2		60	60		
	インターンシップⅡ	2		60	60		
特別科目	一年次研究課題Ⅰ	4	60		60	選択	
	一年次研究課題Ⅱ	4	60		60	選択	
	一年次研究課題Ⅲ	4	60		60	選択	
	二年次研究課題Ⅰ	4		60	60	選択	
	二年次研究課題Ⅱ	4		60	60	選択	
	二年次研究課題Ⅲ	4		60	60	選択	
	ボランティア活動	1		30	30	選択	
選択必修科目	Ⅰ	パーソナルトレーナー実習Ⅰ	2	60		60	Ⅰ～Ⅱの科目群からいずれか一科目群を選択
		パーソナルトレーナー実習Ⅱ	2		60	60	
	Ⅱ	コンディショニングトレーナー実習Ⅰ	2	60		60	
		コンディショニングトレーナー実習Ⅱ	2		60	60	
総合計		88 ～139	960 ～1,200	840 ～1,500	1,800 ～2,700		

区分	科目名	単位	年間授業時間数		総授業時間数	備考
			第1学年	第2学年		
理論科目	スポーツと社会	2	30		30	
	スポーツと指導者	4	60		60	
	身体の解剖と機能	4	60		60	
	スポーツ外傷・障害の基礎	4	60		60	
	運動生理学	4	60		60	
	救急処置法特別講習	1	30		30	
	健康運動理論Ⅰ	2	30		30	
	健康プログラムⅠ	2	30		30	
	健康運動理論Ⅱ	2		30	30	
	健康プログラムⅡ	2		30	30	
	スポーツの心理	2		30	30	
	スポーツ栄養学	2		30	30	
	ジュニアスポーツ指導の基礎	2		30	30	
	ジュニアスポーツ指導の実際	2		30	30	
	救急処置法	2		30	30	
	健康運動実践指導者対策理論	2		30	30	
	各種トレーニング法の理論とプログラム	2		30	30	
	トレーニングにおけるエクササイズテクニック	2		30	30	
	スイミング理論	4		60	60	選択
	スポーツプログラマー対策	2		30	30	選択
	エアロビックコーチⅠ対策理論	2		30	30	選択
	水泳コーチⅠ対策理論	2		30	30	選択
	ジュニアスポーツ指導員対策	2		30	30	
	JATI トレーニング指導者対策	2		30	30	選択
コーチングの仕方	2		30	30		
コーチ・審判ライセンス特別講習	1		30	30		
実技科目	ベーシックトレーニング	2	60		60	
	ベーシックスイミング	2	60		60	
	ベーシックエアロビックダンス	2	60		60	
	テーピングテクニック	2	60		60	
	スポーツスキルⅠ	2	60		60	
	スノーボード・スキー宿泊実習Ⅰ	2	60		60	選択
	スポーツスキルⅡ	1		30	30	
	スイミングスキル	2		60	60	選択
	各種トレーニング法の実際	2		60	60	
	健康運動実践指導者対策実技	1		30	30	
	エアロビックコーチⅠ対策実技	1		30	30	選択
	水泳コーチⅠ対策実技	1		30	30	選択
	スノーボード・スキー宿泊実習Ⅱ	2		60	60	選択



区分	科目名	単位	年間授業時間数		総授業時間数	備考	
			第1学年	第2学年			
一般科目	基礎学習	2	30		30		
	ビジネススキル	2	30		30		
	コミュニケーションⅠ	2	30		30		
	カレッジイベントⅠ	1	30		30		
	就職セミナー	1	30		30		
	就職実務	2		30	30		
	情報基礎	2		60	60		
	外国語	4		60	60	選択	
	コミュニケーションⅡ	2		30	30		
	カレッジイベントⅡ	1		30	30		
実習科目	見学実習	1	30		30		
	特別研修	1	30		30		
	インターンシップⅠ	1	30		30		
	ジュニアスポーツ指導実習	2		60	60		
	インターンシップⅡ	2		60	60		
特別科目	一年次研究課題Ⅰ	4	60		60	選択	
	一年次研究課題Ⅱ	4	60		60	選択	
	一年次研究課題Ⅲ	4	60		60	選択	
	二年次研究課題Ⅰ	4		60	60	選択	
	二年次研究課題Ⅱ	4		60	60	選択	
	二年次研究課題Ⅲ	4		60	60	選択	
	ボランティア活動	1		30	30	選択	
選択必修科目	Ⅰ	サッカーコーチ実習Ⅰ	2	60		60	Ⅰ～Ⅵの 科目群から いずれか 一科目群 を選択
		サッカーコーチ実習Ⅱ	2		60	60	
	Ⅱ	バスケットボールコーチ実習Ⅰ	2	60		60	
		バスケットボールコーチ実習Ⅱ	2		60	60	
	Ⅲ	野球コーチ実習Ⅰ	2	60		60	
		野球コーチ実習Ⅱ	2		60	60	
	Ⅳ	バドミントンコーチ実習Ⅰ	2	60		60	
		バドミントンコーチ実習Ⅱ	2		60	60	
	Ⅴ	バレーボールコーチ実習Ⅰ	2	60		60	
		バレーボールコーチ実習Ⅱ	2		60	60	
	Ⅵ	陸上競技コーチ実習Ⅰ	2	60		60	
		陸上競技コーチ実習Ⅱ	2		60	60	
総合計		88 ～137	960 ～1,200	840 ～1,470	1,800 ～2,670		

区分	科目名	単位	年間授業時間数		総授業時間数	備考
			第1学年	第2学年		
理論科目	スポーツと社会	2	30		30	
	スポーツと指導者	4	60		60	
	身体の解剖と機能	4	60		60	
	スポーツ外傷・障害の基礎	4	60		60	
	運動生理学	4	60		60	
	救急処置法特別講習	1	30		30	
	健康運動理論Ⅰ	2	30		30	
	健康プログラムⅠ	2	30		30	
	健康運動理論Ⅱ	2		30	30	
	健康プログラムⅡ	2		30	30	
	スポーツの心理	2		30	30	
	スポーツ栄養学	2		30	30	
	ジュニアスポーツ指導の基礎	2		30	30	
	ジュニアスポーツ指導の実際	2		30	30	
	救急処置法	2		30	30	
	健康運動実践指導者対策理論	2		30	30	
	各種トレーニング法の理論とプログラム	2		30	30	
	トレーニングにおけるエクササイズテクニック	2		30	30	
	スイミング理論	4		60	60	選択
	スポーツプログラマー対策	2		30	30	選択
	エアロビックコーチⅠ対策理論	2		30	30	選択
	水泳コーチⅠ対策理論	2		30	30	選択
	スポーツビジネス論	2		30	30	
	スポーツ産業学	2		30	30	
イベント企画と立案	2		30	30		
実技科目	ベーシックトレーニング	2	60		60	
	ベーシックスイミング	2	60		60	
	ベーシックエアロビックダンス	2	60		60	
	テーピングテクニック	2	60		60	
	スポーツスキルⅠ	2	60		60	
	スノーボード・スキー宿泊実習Ⅰ	2	60		60	選択
	スポーツスキルⅡ	1		30	30	
	スイミングスキル	2		60	60	選択
	各種トレーニング法の実際	2		60	60	
	健康運動実践指導者対策実技	1		30	30	
	エアロビックコーチⅠ対策実技	1		30	30	選択
	水泳コーチⅠ対策実技	1		30	30	選択
	スノーボード・スキー宿泊実習Ⅱ	2		60	60	選択

区分	科目名	単位	年間授業時間数		総授業時間数	備考
			第1学年	第2学年		
一般科目	基礎学習	2	30		30	
	ビジネススキル	2	30		30	
	プレゼンテーション論	2	30		30	
	コミュニケーションⅠ	2	30		30	
	カレッジイベントⅠ	1	30		30	
	就職セミナー	1	30		30	
	就職実務	2		30	30	
	情報基礎	2		60	60	
	外国語	4		60	60	
	コミュニケーションⅡ	2		30	30	
	カレッジイベントⅡ	1		30	30	
実習科目	見学実習	1	30		30	
	特別研修	1	30		30	
	ジュニアスポーツ指導実習	2		60	60	
特別科目	一年次研究課題Ⅰ	4	60		60	選択
	一年次研究課題Ⅱ	4	60		60	選択
	一年次研究課題Ⅲ	4	60		60	選択
	二年次研究課題Ⅰ	4		60	60	選択
	二年次研究課題Ⅱ	4		60	60	選択
	二年次研究課題Ⅲ	4		60	60	選択
	ボランティア活動	1		30	30	選択
選択必修科目	Ⅰ インターンシップ PROⅠ (プロ野球)	4	60		60	Ⅰ～Ⅲの 科目群から いずれか 一科目群 を選択
		4		60	60	
	Ⅱ インターンシップ PROⅠ (プロサッカー・フットサル)	4	60		60	
		4		60	60	
	Ⅲ インターンシップ PROⅠ (プロバスケットボール)	4	60		60	
		4		60	60	
総合計		96 ～139	960 ～1,200	840 ～1,380	1,800 ～2,580	

文化・教養分野 専門課程 スポーツトレーナー学科 アスレティックトレーナーコース (No.1)

区分	科目名	単位	年間授業時間数			総授業時間数	備考
			第1学年	第2学年	第3学年		
理論科目	スポーツと社会	2	30			30	
	スポーツと指導者	4	60			60	
	スポーツの心理	2	30			30	
	スポーツ栄養学Ⅰ	2	30			30	
	運動生理学	4	60			60	
	身体の解剖と機能Ⅰ	4	60			60	
	スポーツ外傷・障害の基礎Ⅰ	4	60			60	
	トレーナーの役割	2	30			30	
	スポーツコンディショニングⅠ	4	60			60	
	リコンディショニングⅠ	4	60			60	
	救急処置法特別講習	1	30			30	
	スポーツと救急対応	4	60			60	
	測定と評価	2	30			30	
	A T対策Ⅰ	4	60			60	
	A T対策Ⅱ	4	60			60	
	健康運動理論Ⅰ	2		30		30	
	健康プログラムⅠ	2		30		30	
	スポーツの安全・健康管理	2		30		30	
	トレーニング科学	2		30		30	
	健康運動理論Ⅱ	2		30		30	
	健康プログラムⅡ	2		30		30	
	健康運動実践指導者対策理論	2		30		30	
	スポーツ外傷・障害の基礎Ⅱ	2		30		30	
	リコンディショニングⅡ	2		30		30	
	スポーツ医学 内科	2		30		30	
	バイオメカニクス	2		30		30	
	スポーツコンディショニングⅡ	2		30		30	
	身体の解剖と機能Ⅱ	4		60		60	
	A T対策Ⅲ	4		60		60	
	A T対策Ⅳ	4		60		60	
	各種トレーニング法の理論とプログラム	2			30	30	
	スポーツ栄養学Ⅱ	2			30	30	
	運動療法学Ⅰ	4			60	60	
リコンディショニングⅢ	4			60	60		
スポーツ外傷学	4			60	60		
A T対策Ⅴ	4			60	60		
A T対策Ⅵ	4			60	60	選択	

文化・教養分野 専門課程 スポーツトレーナー学科 アスレティックトレーナーコース (No.2)

区分	科目名	単位	年間授業時間数			総授業時間数	備考
			第1学年	第2学年	第3学年		
理論科目	スイミング理論	4			60	60	選択
	水泳コーチⅠ対策理論	2			30	30	選択
	スポーツプログラマー対策	2			30	30	選択
	健康運動指導士対策	4			60	60	選択
	JATI トレーニング指導者対策	2			30	30	選択
	BRSO 対策	2			30	30	選択
実技科目	ベーシックトレーニング	2	60			60	
	ベーシックスイミング	1	30			30	
	ベーシックエアロビックダンス	1	30			30	
	テーピングテクニックⅠ	1	30			30	
	スノーボード・スキー実習Ⅰ	2	60			60	選択
	トレーニングⅠ	2		60		60	
	テーピングテクニックⅡ	2		60		60	
	各種トレーニング法の実際	2		60		60	
	健康運動実践指導者対策実技	1		30		30	
	スノーボード・スキー実習Ⅱ	2		60		60	選択
	トレーニングⅡ	2			60	60	
	テーピングテクニックⅢ	2			60	60	
	スポーツマッサージ	1			30	30	
	トレーニングプログラムの立案と実践	4			60	60	
	トレーニング評価と指導	2			60	60	
	スイミングスキル	2			60	60	選択
水泳コーチⅠ対策実技	1			30	30	選択	
スノーボード・スキー実習Ⅲ	2			60	60	選択	
一般科目	コミュニケーションⅠ	2	30			30	
	カレッジイベントⅠ	1	30			30	
	就職セミナー	1		30		30	
	コミュニケーションⅡ	2		30		30	
	カレッジイベントⅡ	1		30		30	
	ビジネススキル	2		30		30	
	就職実務	2		30		30	
	情報基礎	2			60	60	
	コミュニケーションⅢ	2			30	30	
	カレッジイベントⅢ	1			30	30	
外国語	4			60	60	選択	
実習科目	特別研修	1	30			30	
	見学実習	1	30			30	
	トレーナー総合実習Ⅰ	2	60			60	
	トレーナー総合実習Ⅱ	1	30			30	
	トレーナー総合実習Ⅲ	1		30		30	
	トレーナー総合実習Ⅳ	1		30		30	
	トレーナー総合実践Ⅰ	2			60	60	
	トレーナー総合実践Ⅱ	2			60	60	

文化・教養分野 専門課程 スポーツトレーナー学科 アスレティックトレーナーコース (No.3)

区分	科目名	単位	年間授業時間数			総授業時間数	備考
			第1学年	第2学年	第3学年		
特別科目	一年次研究課題Ⅰ	4	60			60	選択
	一年次研究課題Ⅱ	4	60			60	選択
	一年次研究課題Ⅲ	4	60			60	選択
	ボランティア活動Ⅰ	1	30			30	選択
	二年次研究課題Ⅰ	4		60		60	選択
	二年次研究課題Ⅱ	4		60		60	選択
	二年次研究課題Ⅲ	4		60		60	選択
	ボランティア活動Ⅱ	1		30		30	選択
	三年次研究課題Ⅰ	4			60	60	選択
	三年次研究課題Ⅱ	4			60	60	選択
	三年次研究課題Ⅲ	4			60	60	選択
	ボランティア活動Ⅲ	1			30	30	選択
総合計		153 ~225	1,080 ~1,350	960 ~1,230	810 ~1,530	2,850 ~4,110	

区分	科目名	単位	年間授業時間数			総授業時間数	備考
			第1学年	第2学年	第3学年		
理論科目	スポーツと社会	2	30			30	
	スポーツと指導者	4	60			60	
	スポーツの心理	2	30			30	
	スポーツ栄養学Ⅰ	2	30			30	
	運動生理学	4	60			60	
	身体の解剖と機能Ⅰ	4	60			60	
	スポーツ外傷・障害の基礎Ⅰ	4	60			60	
	トレーナーの役割	2	30			30	
	スポーツコンディショニングⅠ	4	60			60	
	リコンディショニングⅠ	4	60			60	
	救急処置法特別講習	1	30			30	
	スポーツと救急対応	4	60			60	
	測定と評価	2	30			30	
	検定対策Ⅰ	4	60			60	
	検定対策Ⅱ	4	60			60	
	健康運動理論Ⅰ	2		30		30	
	健康プログラムⅠ	2		30		30	
	健康運動理論Ⅱ	2		30		30	
	健康プログラムⅡ	2		30		30	
	健康運動実践指導者対策理論	2		30		30	
	スポーツ医学 内科	2		30		30	
	健康づくり運動の理論	4		60		60	
	身体の解剖と機能Ⅱ	4		60		60	
	各種トレーニング法の理論とプログラム	2		30		30	
	検定対策Ⅲ	4		60		60	
	検定対策Ⅳ	4		60		60	
	運動療法学Ⅰ	4		60		60	
	スポーツ栄養学Ⅱ	2			30	30	
	生活習慣病の知識	4			60	60	
	スポーツコンディショニングⅡ	4			60	60	
	運動療法学Ⅱ	2			30	30	
	メディカルリハビリテーション	4			60	60	
	障がいとスポーツ	4			60	60	
	体力測定と評価	4			60	60	
	検定対策Ⅴ	4			60	60	
	検定対策Ⅵ	4			60	60	選択
スイミング理論	4			60	60	選択	
水泳コーチⅠ対策理論	2			30	30	選択	
スポーツプログラマー対策	2			30	30	選択	
JATI トレーニング指導者対策	2			30	30	選択 修得年次認定	
BRSO 対策	2			30	30	選択	

区分	科目名	単位	年間授業時間数			総授業時間数	備考
			第1学年	第2学年	第3学年		
実技科目	ベーシックトレーニング	2	60			60	
	ベーシックスイミング	1	30			30	
	ベーシックエアロビックダンス	1	30			30	
	テーピングテクニックⅠ	1	30			30	
	スノーボード・スキー実習Ⅰ	2	60			60	選択
	各種トレーニング法の実践	2		60		60	
	健康運動実践指導者対策実技	1		30		30	
	スノーボード・スキー実習Ⅱ	2		60		60	選択
	テーピングテクニックⅡ	2			60	60	
	スポーツマッサージ	1			30	30	
	トレーニング	2			60	60	
	健康づくり運動の実践	2			60	60	
	各種予防運動の実践	2			60	60	
	スイミングスキル	2			60	60	選択
	水泳コーチⅠ対策実技	1			30	30	選択
スノーボード・スキー実習Ⅲ	2			60	60	選択	
一般科目	コミュニケーションⅠ	2	30			30	
	カレッジイベントⅠ	1	30			30	
	就職セミナー	1		30		30	
	コミュニケーションⅡ	2		30		30	
	カレッジイベントⅡ	1		30		30	
	ビジネススキル	2		30		30	
	就職実務	2		30		30	
	情報基礎	2			60	60	
	コミュニケーションⅢ	2			30	30	
	カレッジイベントⅢ	1			30	30	
外国語	4			60	60	選択	
実習科目	特別研修	1	30			30	
	見学実習	1	30			30	
	トレーナー総合実習Ⅰ	2	60			60	
	トレーナー総合実習Ⅱ	1	30			30	
	メディカルフィットネス実習	2		60		60	



区分	科目名	単位	年間授業時間数			総授業時間数	備考
			第1学年	第2学年	第3学年		
特別科目	一年次研究課題Ⅰ	4	60			60	選択
	一年次研究課題Ⅱ	4	60			60	選択
	一年次研究課題Ⅲ	4	60			60	選択
	ボランティア活動Ⅰ	1	30			30	選択
	二年次研究課題Ⅰ	4		60		60	選択
	二年次研究課題Ⅱ	4		60		60	選択
	二年次研究課題Ⅲ	4		60		60	選択
	ボランティア活動Ⅱ	1		30		30	選択
	三年次研究課題Ⅰ	4			60	60	選択
	三年次研究課題Ⅱ	4			60	60	選択
	三年次研究課題Ⅲ	4			60	60	選択
	ボランティア活動Ⅲ	1			30	30	選択
	総合計		149 ~217	1,080 ~1,350	810 ~1,110	810 ~1,470	2,700 ~3,900

区分	科目名	単位	年間授業時間数			総授業時間数	備考
			第1学年	第2学年	第3学年		
理論科目	スポーツと社会	2	30			30	
	スポーツと指導者	4	60			60	
	スポーツの心理	2	30			30	
	スポーツ栄養学Ⅰ	2	30			30	
	運動生理学	4	60			60	
	身体の解剖と機能Ⅰ	4	60			60	
	スポーツ外傷・障害の基礎Ⅰ	4	60			60	
	トレーナーの役割	2	30			30	
	スポーツコンディショニングⅠ	4	60			60	
	リコンディショニングⅠ	4	60			60	
	救急処置法特別講習	1	30			30	
	スポーツと救急対応	4	60			60	
	測定と評価	2	30			30	
	検定対策Ⅰ	4	60			60	
	検定対策Ⅱ	4	60			60	
	健康運動理論Ⅰ	2		30		30	
	健康プログラムⅠ	2		30		30	
	健康運動理論Ⅱ	2		30		30	
	健康プログラムⅡ	2		30		30	
	健康運動実践指導者対策理論	2		30		30	
	スポーツ医学 内科	2		30		30	
	身体の解剖と機能Ⅱ	4		60		60	
	各種トレーニング法の理論とプログラム	2		30		30	
	検定対策Ⅲ	4		60		60	
	検定対策Ⅳ	4		60		60	
	スポーツ栄養学Ⅱ	2			30	30	
	生活習慣病の知識	4			60	60	
	スポーツコンディショニングⅡ	4			60	60	
	メディカルリハビリテーション	4			60	60	
	障がいとスポーツ	4			60	60	
	ジュニアスポーツ指導の基礎	2			30	30	選択
	ジュニアスポーツ指導の実際	2			30	30	選択
	検定対策Ⅴ	4			60	60	
検定対策Ⅵ	4			60	60	選択	
水泳コーチⅠ対策理論	2			30	30	選択	
ジュニアスポーツ指導員対策	2			30	30	選択	
スポーツプログラマー対策	2			30	30	選択	
BRSO 対策	2			30	30	選択	

区分	科目名	単位	年間授業時間数			総授業時間数	備考
			第1学年	第2学年	第3学年		
実技科目	ベーシックトレーニング	2	60			60	
	ベーシックスイミング	1	30			30	
	ベーシックエアロビックダンス	1	30			30	
	テーピングテクニックⅠ	1	30			30	
	スノーボード・スキー実習Ⅰ	2	60			60	選択
	各種トレーニング法の実際	2		60		60	
	健康運動実践指導者対策実技	1		30		30	
	フィジカルトレーニングⅠ	2		60		60	
	ボディメイク実践Ⅰ	2		60		60	
	スノーボード・スキー実習Ⅱ	2		60		60	選択
	テーピングテクニックⅡ	2			60	60	
	スポーツマッサージ	1			30	30	
	フィジカルトレーニングⅡ	2			60	60	
	フィジカルコンディショニング	2			60	60	
	ボディメイク実践Ⅱ	2			60	60	
	パーソナルトレーナー実践	1			30	30	
	ジュニアスポーツ指導実習	2			60	60	選択
	スイミングスキル	2			60	60	選択
水泳コーチⅠ対策実技	1			30	30	選択	
スノーボード・スキー実習Ⅲ	2			60	60	選択	
一般科目	コミュニケーションⅠ	2	30			30	
	カレッジイベントⅠ	1	30			30	
	就職セミナー	1		30		30	
	コミュニケーションⅡ	2		30		30	
	カレッジイベントⅡ	1		30		30	
	ビジネススキル	2		30		30	
	就職実務	2		30		30	
	スポーツビジネス論Ⅰ	2			30	30	
	スポーツマーケティング論	2			30	30	
	情報基礎	2			60	60	
	コミュニケーションⅢ	2			30	30	
	カレッジイベントⅢ	1			30	30	
	外国語	4			60	60	選択
実習科目	特別研修	1	30			30	
	見学実習	1	30			30	
	トレーナー総合実習Ⅰ	2	60			60	
	トレーナー総合実習Ⅱ	1	30			30	
	パーソナルトレーナー実習	2		60		60	

文化・教養分野 専門課程 スポーツトレーナー学科 フィジカルトレーナーコース (No.3)

区分	科 目 名	単位	年間授業時間数			総授業 時間数	備 考
			第1学年	第2学年	第3学年		
特別 科目	一年次研究課題Ⅰ	4	60			60	選択
	一年次研究課題Ⅱ	4	60			60	選択
	一年次研究課題Ⅲ	4	60			60	選択
	ボランティア活動Ⅰ	1	30			30	選択
	二年次研究課題Ⅰ	4		60		60	選択
	二年次研究課題Ⅱ	4		60		60	選択
	二年次研究課題Ⅲ	4		60		60	選択
	ボランティア活動Ⅱ	1		30		30	選択
	三年次研究課題Ⅰ	4			60	60	選択
	三年次研究課題Ⅱ	4			60	60	選択
	三年次研究課題Ⅲ	4			60	60	選択
	ボランティア活動Ⅲ	1			30	30	選択
	総 合 計		144 ~214	1,080 ~1,350	810 ~1,080	810 ~1,530	2,700 ~3,960

別表第2（第32条関係）

授業料・入学金その他の費用

<文化・教養分野 専門課程>

区 分 学 科	入学検定料	入学金 (初年度のみ)	授業料 (年間)	教育充実費 (年間)
スポーツトレーナー学科	20,000 円	150,000 円	680,000 円	200,000 円
スポーツ健康学科	20,000 円	150,000 円	680,000 円	200,000 円

別記第1号様式（第27条関係、スポーツ健康学科、スポーツトレーナー学科）

契 印	第 号	学校法人吉田学園 北海道スポーツ専門学校 校長 氏 名 印	年 月 日	と称することを認める 八十四号）により専門士（文化・教養専門課程）	与し文部科学大臣告示（平成六年文部省告示第 八十四号）により専門士（文化・教養専門課程）	る職業実践専門課程）を修めたので卒業証書を授 （平成二十五年文部科学省告示第百三十三号によ	右の者は本校専門課程何々学科（〇年）の課程	校 印	卒業証書	氏 名	年 月 日生

備考 何々学科にはそれぞれの学科名を、〇年には、その学科の修業年限を記載するものとする。

附帯教育事業の修了証書

契 印	第 号	学校法人吉田学園 北海道スポーツ専門学校 校長 氏 名 印	年 月 日	課程を修了したことを証する 本校附帯教育事業の〇〇科の	修了生氏名	校 印	修了証書	年 月 日生

備考 〇〇科は、科名を記載するものとする。